

エッコロコーディネーターの仕事は、生活クラブ虹の街の組合員の方が日常生活で困った時に、ケアの依頼や相談をすると詳しく説明して、受付→ケア先(W.Co・街ネット・エッコロサポーター)に繋がります。エッコロサポーターは、ちょっとした困りごとを組合員同士の「お互い

さま」で解決し合う担い手です。登録者を増やすための説明会などに参加します。柏・佐倉・市原の3つのブロックを委託されています。

また、ケアを行っている事業所とも事例の共有・検討・研修を行い、コーディネート力を高めていく努力をしています。高齢の方や産後間もない方などが利用者さんなので、特にコロナについては、気をつけています。

電車での移動のリスクなどを考え、ZOOM会議にしています。操作に慣れなかったり、活発な意見が出なかったりということもありますが、進行の仕方など慣れていけば、この会議がいいのではないのでしょうか。

紙ふうせん 鈴木二味子



病气やけがで困った!

- ・本人や家族が入院・通院した時
- ・風邪で寝込んだ時
- ・腰痛で動けない時

高齢や介護で困った!

- ・元気なときでも使えます。今までできていたはずのことがちょっと不安 ちょっと難しい時
- ・注文用紙の代筆・窓拭きなど

出産や育児で困った!

- ・産前産後の沐浴・日常生活支援
- ・保育園等への送迎
- ・学校行事に下の子を同伴できない

日常生活支援サービスの一例を紹介

- ・簡単な家事(掃除・洗濯・買い物・食事準備)
  - ・通院時の付き添い
  - ・カーテンの取り外し、電球の付け替え、草取り、大型家具の移動
  - ・おじさんの見守り
- など、ちょっとした暮らしの「困った」をお手伝いします!

くらし文化部



地域福祉部会がくらし文化部に名称変更

自分たちの暮らしの中から、「あったらいいな」を拾ってモノやサービスを市民事業に起こし、住みやすい暮らしやすい街づくりにつなげてきたのがW.Coです。

くらし文化部は、W.Coの運動の原点に戻って、こどもから障がい者・高齢者、誰もが暮らしやすい街づくりをテーマに、暮らしの豊かさと働く環境について考え、活動していきます。ういず、回転木馬、紙ふうせん、葬祭さぼりと千葉、風車、結市原ランチ、わっふるの7事業所で構成しています。

2020年度の事業計画

- ①「街の縁側」をワーカーズ・コレクティブらしい多様な居場所で展開していきます。
- ②各事業所の仕事を内外にわかりやすく伝える工夫を検討します。
- ③生活支援総合事業の専門性を高めるため、利用者やケア者をつなげるだけでなく、利用者が必要としている地域の資源につなげるなど、コーディネート力向上に努めます。

わっふる 飯沼菜津子

コロナ対応マニュアル (柏市ガイドブックから)

「クルトコ」では、柏市のガイドブックに沿って、マニュアルを作成して実施しています。利用者やスタッフも入室の際に毎回、検温や入退室の時間・連絡先の記載が求められる、その名簿を柏市に提出することになっています。

クルトコご利用時の感染症対策チェックシート REV.B

このチェックシートは、クルトコ利用における新型コロナウイルスの感染発生防止を目的に、感染症対策の項目をチェックしていただき、施設のご利用に確認させていただくものです。別配布の個人票のみ、退室時、ご提出をお願いします。また、個人票は新型コロナウイルス感染者が発生した場合のみ、感染拡大防止のためにのみ使用し、個人票は社会福祉協議会へ報告後に廃棄します。

◆ご利用前の条件

- ギランティアまたは参加者は以下の該当でないこと。
  - ①ご利用の当日に風邪症状のある方、体調不良の方
  - ②過去2週間以内に発熱や風邪症状で受診・服薬をした方
  - ③過去2週間以内に新型コロナウイルスに感染している、もしくは感染が疑われる症状のある人と接触した方
- 利用当日の個人票を退室時記入提出すること。(別用紙)

◆3密を避けたルール

- 活動中は密閉せず、できる限り窓と戸を開けて換気する。
- 常に人と人の距離を1m程度以上あけて活動する。
- 常に飲食以外はマスクを着用する。
- 運動等でマスク未着の場合は、人と人の距離を2m以上あけて活動する。
- 身近での会話や激しい呼吸を伴う活動、身体の接触を控える。
- トイレは、使用可能だが、その後、必ず石鹸による手洗いを願います。

◆ご利用時の条件

- トイレ使用後、人の接触場所はアルコールで消毒を行います。
- 参加者の退室後に、人の接触場所は常にアルコールで消毒を行います。
- 利用時間はMax.1時間で速やかに退室することをお願いします。

ワーカーズ・コレクティブ(W.Co)とは... 同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に有用な事業/出資・労働・経営を全員で担う/働くことを通し、社会的・経済的・精神的自立をめざす

## 特集 コロナ災害を乗り越える

### ピンチの今だからこそ ワーカーズ・コレクティブの新たな一歩に

新型コロナウイルスの感染拡大は、未だに収束の見通しが立たず、W.Coの各事業所への影響も続いています。緊急事態宣言を受け、W.Co 千葉県連合会の総会が、書面議決とZOOM会議という新しい形で行われました。今後、事業の継続も、長いスパンで見据えていく必要があります。こんな時こそ、W.Coならではのアイデアで、新たな一歩を踏み出しましょう。



### 総会報告 コロナ禍の総会はZOOMを活用!

5月27日、第21回総会を生活クラブ センター柏にて開催しました。新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため、理事長、議長など総会役員を含む3事業所以外はZOOMでリモート参加しました。今までとは勝手が違う総会でしたが、こうした形態が2020年度からの組織運営にも生かされていくと思います。連携・連帯し、W.Coを広げる活動を展開していきます。



柏方面はセンター柏で

### W.Coの社会化と持続可能な事業力強化を!

今年は第4次中期計画の始まりです。小さな経済循環を起こし、W.Coの事業が地域社会の中で必要とされ、認められ、存在意義を発揮できるよう、それぞれの取組みを着実に推進していきたいと思えます。地域福祉部会も「くらし文化部」と名称を変え、活動を始めました。

6月、コロナウイルスの影響で運営が不安定になっている各事業所を応援しようと、連合会から緊急取組みとして5万円の見舞金を給付しました。今年をどうにか持ちこたえながら、新しいことにチャレンジしてほしいという願いでもあります。

不測の事態や新規創設事業への備えとして、基金・助成金制度の創設はぜひとも実現したいものです。with コロナと言われる状況下で、中間支援は何かできるのか手探りし、情報共有しながら、暮らしやすい街づくりの一端を担うW.Coとして、精一杯努力・前進していきましょう。

なお、6月12日、労働者協同組合法が議員立法として衆議院に提出され、秋の臨時国会で審議成立の見通しです。

文責 理事長 熊澤聡子

### 今年度 目指す活動

- ①地域に必要な事業を興し、協同組合の街づくりに繋げる。
- ②W.Coの内実を高め、持続可能な経済的事業力と組織力の強化を図り、W.Coの社会化を推進
- ③広報政策を戦略的に展開し、W.Coの社会化を後押し
- ④生活クラブグループやWNJ、協同組合などとの連帯
- ⑤提案力を高め、行政や関連団体等との協働・連携を推進
- ⑥働く人の労働力が適正に評価される仕組みづくりを推進
- ⑦法制化、税と社会保障の一体化に向けた学習会の開催
- ⑧基金・助成金制度についての検討
- ⑨連合会 30周年記念行事を推進

\*2022年は連合会30周年を迎える節目の年です。